

健康はキョーリンの願いです。

第55期 中間株主通信 | 平成24年4月1日～平成24年9月30日

*Kyorin* 

キョーリン製薬ホールディングス株式会社



### 健康はキョーリンの願いです。

キョーリンは生命を慈しむ心を貫き、人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します。

### Profile

#### 持株会社体制

「キョーリン製薬ホールディングス株式会社」は、グループ統轄会社としてグループ全体の経営戦略機能を担い、経営資源の効率的な配分や運用を行うことでキョーリン製薬グループ全体の総合力を発揮し、連結業績の向上に努めています。



\*本年6月15日付で当社の100%子会社として設立し、10月より事業を開始いたしました。

### 中期経営計画「HOPE100 ―ステージ1―」の達成を目指し、 一層の企業価値の向上に取り組んでまいります。

平素よりキョーリン製薬グループに対しまして格別のご理解  
とご支援を賜り、誠に有難うございます。

当社グループの平成24年4月1日から平成24年9月30日ま  
での第55期第2四半期(以下「中間期」という)につきまして、事  
業の概況をご報告申し上げます。



当社グループは、「キョーリンは生命を慈しむ心を買き、人々  
の健康に貢献する社会的使命を遂行します。」という企業理念  
の具現化に向け、中核子会社である杏林製薬(株)の創業100周  
年にあたる平成35年を見すえた長期ビジョン「HOPE100」及  
び中期経営計画「HOPE100―ステージ1―(平成22年度～27

年度)」を策定し、平成22年度より活動を開始しております。

平成24年度は、その3年目として、一層厳しさの増す経営環  
境下ではありますが、グループとしての企業価値の向上を目指  
します。

これからも当社グループは、企業理念の具現化に向け、医薬  
品事業を中核とする多核的な事業ポートフォリオの構築により、  
「健康生活応援企業」への進化を図ります。

株主の皆さまには引き続き、なお一層のご支援を賜りますよ  
うよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 山下正弘

#### 長期ビジョン「HOPE100(平成22年度～35年度)」 HOPE: Aim for Health Of People and our Enterprises

キョーリン製薬グループは、ヘルスケア事業を多核的に展開・  
発展させ、平成35年には社内外が認める健全な健康生活応援企  
業へと進化します。

#### 中期経営計画「HOPE100 ―ステージ1―(平成22年度～27年度)」



## 事業の概況

### 》》 当中間期の概況

当中間期における国内医薬品業界は、本年4月に実施されました薬価基準の改定(業界平均:6.0%、杏林製薬:6%台)等、薬剤費の抑制を目的とした諸施策により経営環境は厳しさを増しました。ヘルスケア事業では、消費の低迷もあり、縮小傾向にある市場の中で企業間の競争は激化しました。

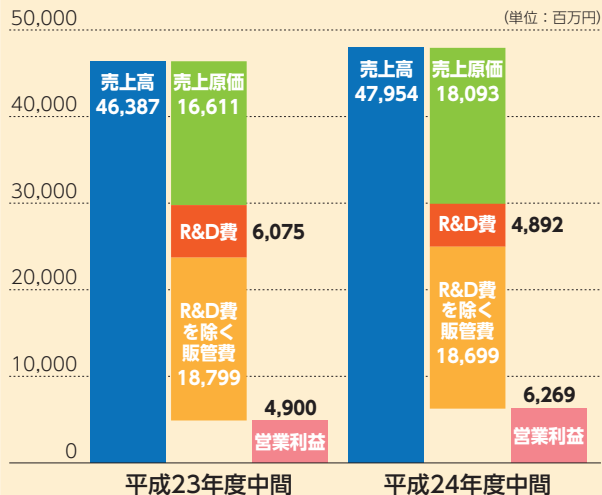
このような状況下、当社グループは、中期経営計画「HOPE 100-ステージ1-(平成22年度~27年度)」に基づき、事業戦略である「ファーマ・コンプレックス・モデル(PCモデル)への取り組み促進」「ヘルスケア新規事業の拡充と育成」に積極的に取り組み、持続成長とステークホルダーの皆さまからの支持・評価の向上に努めました。

この結果、ヘルスケア事業の売上は若干減少したものの、医薬品事業の売上は新薬事業、後発品事業ともに前年度を上回り、売上高は479億54百万円(前年同期比3.4%増)となりました。

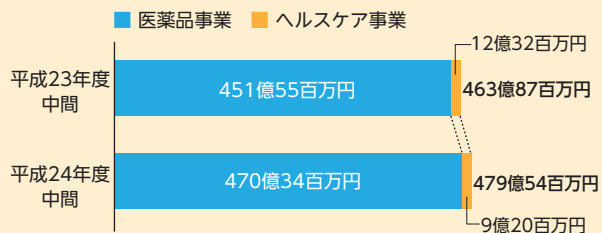
利益面では、薬価改定の影響等により原価率が1.9ポイント上昇したものの、販売費及び一般管理費が研究開発費の減少等により前年同期に対し12億83百万円減少したため、営業利益は62億69百万円(前年同期比27.9%増)となりました。また、経常利益は66億09百万円(前年同期比25.8%増)、当四半期(中間)純利益は42億95百万円(前年同期比28.0%増)の増益となりました。

なお、当中間配当金につきましては、1株につき10円をお支払いさせていただきます。

### ■ 損益の概要



### ■ セグメント別売上高



### ■ 連結業績予想(通期) (平成24年11月7日公表数値)

売上高	<b>1,078億円</b>	(前年同期比 4.4%増)
営業利益	<b>174億円</b>	(前年同期比 20.3%増)
経常利益	<b>180億円</b>	(前年同期比 17.8%増)
当期純利益	<b>118億円</b>	(前年同期比 27.8%増)

## セグメントの状況



**国内新医薬品** 本年4月に実施された薬価改定の影響はあったものの、呼吸器内科・耳鼻科・泌尿器科を中心とする特定領域の医師、医療機関に営業活動を重点化するフランチャイズカスタマー（FC）戦略の推進と強化等により、主力製品の普及の最大化に努めた結果、売上高は386億61百万円（前年同期比1.4%増）となりました。主力製品では、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「キプレス」、過活動膀胱治療剤「ウリトス」が前年実績を上回りましたが、潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ペントキサ」、去痰剤「ムコダイン」は前年を下回りました。

**海外新医薬品** 広範囲抗菌点眼剤「ガチフロキサシン（導出先：米国アラガン社）」に関連する収入が前年を上回り、売上高は10億23百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

**後発（ジェネリック）医薬品** 後発医薬品の使用促進策等により保険調剤薬局への販売が増えると共に他社からの受託生産による売上も増加し、売上高は50億56百万円（前年同期比23.4%増）となりました。

**一般用医薬品他** 主要製品である哺乳びん殺菌消毒剤「ミルトン」の売上が若干増加し、その他の製品売上も前年を上回ったため、売上高は22億92百万円（前年同期比17.0%増）となりました。

この結果、当セグメントの売上高は470億34百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は63億36百万円（前年同期比32.0%増）となりました。

研究開発の状況につきましては、世界の人々の健康に貢献できる新薬の創製と提供が新薬メーカーの存在意義を高め、持続成長に結びつくと認識に基づき、自社創薬、導入品の開発、既存品のライフサイクルマネジメント（新効能・効果取得、剤型追加）により特定領域において魅力ある製品パイプラインの構築に取り組んでおります。

国内開発の状況としましては、慢性閉塞性肺疾患治療薬（配合剤）「KRP-AB1102F」のPh（フェーズ）II臨床試験、慢性閉塞性肺疾患治療薬（単剤）「KRP-AB1102」のPhIII臨床試験、ニューキノロン系合成抗菌剤「KRP-AM1977Y」のPhI臨床試験をそれぞれ開始し、気管支喘息治療剤「KRP-108」は本年9月に製造販売承認申請いたしました。潰瘍性大腸炎治療剤「ペントキサ」は、本年8月に新用法・用量（1日1回投与）の承認を取得すると共に新剤型である坐剤を製造販売承認申請いたしました。

また、糖尿病治療剤「KRP-104」は、開発の重点領域、優先度、競合状況等を総合的に勘案し、事業戦略上の観点から開発を中止することにいたしました。なお、千寿製薬（株）へ導出している緑内障治療薬「アイファガン（点眼液）」が本年5月に本社より新発売されました。

自社創薬活動におきましては、研究領域を呼吸器・泌尿器・感染症に重点化し、効果的かつ効率的な新薬の創製に努めております。その結果、研究開発費は48億92百万円（前年同期比19.5%減）となりました。

生産部門では、中期経営計画「HOPE100-ステージ1-」において重点課題の1つとして掲げる「高品質の製品を安定的に低コストで供給する生産体制の確立」への取り組みとして、キョーリン製薬グループ工場（株）を設立し、10月1日より事業を開始いたしました。

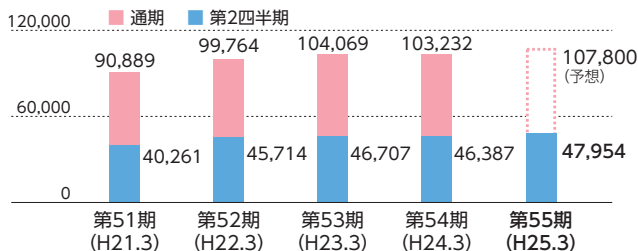


ナノカプセル技術を応用したスキンケア製品を取り扱うドクタープログラム（株）の売上が前年を下回る実績となり、当セグメントの売上高は9億20百万円（前年同期比25.3%減）、営業損失は1億41百万円（前年同期の営業利益は5百万円）となりました。

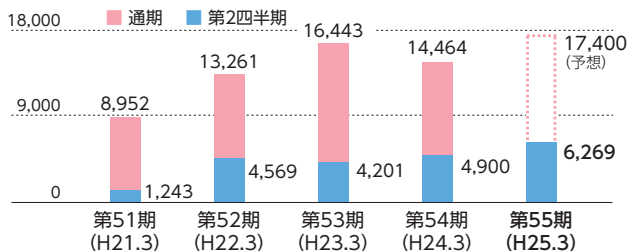
# Consolidated Financial Highlights

## 連結財務ハイライト

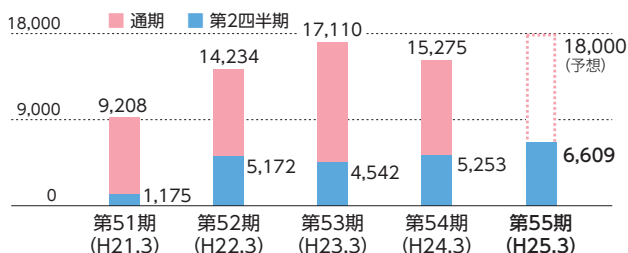
**売上高** 47,954百万円 ▶▶▶ 通期予想107,800百万円  
前年同期比3.4%増 (単位：百万円)



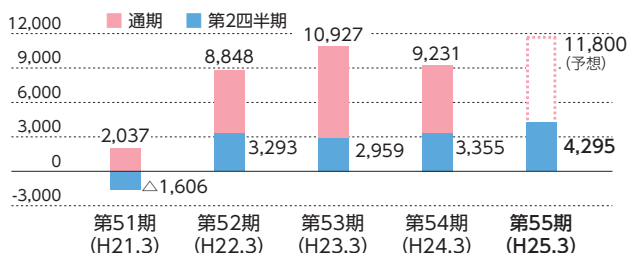
**営業利益** 6,269百万円 ▶▶▶ 通期予想17,400百万円  
前年同期比27.9%増 (単位：百万円)



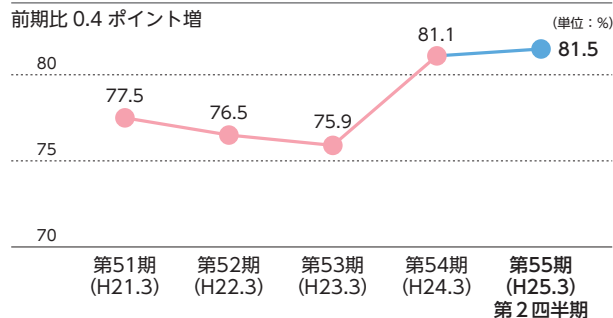
**経常利益** 6,609百万円 ▶▶▶ 通期予想18,000百万円  
前年同期比25.8%増 (単位：百万円)



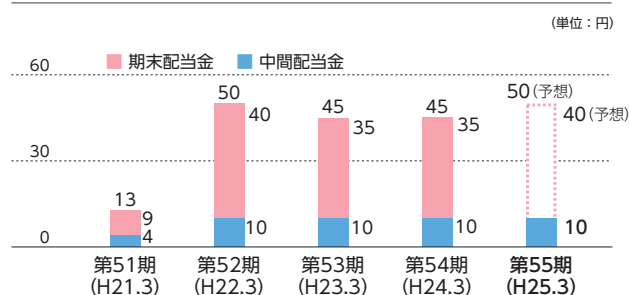
**四半期(当期)純利益** 4,295百万円 ▶▶▶ 通期予想11,800百万円  
前年同期比28.0%増 (単位：百万円)



**自己資本比率** 81.5%



**配当金** 10円 ▶▶▶ 年間配当金予想50円 (単位：円)



## 連結財務諸表

### ●四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当第2四半期末 平成24年9月30日現在	前期末 平成24年3月31日現在
【資産の部】		
<b>流動資産</b>	<b>104,083</b>	99,850
<b>固定資産</b>	<b>43,341</b>	45,822
有形固定資産	14,632	14,544
無形固定資産	747	846
投資その他の資産	27,961	30,431
<b>資産合計</b>	<b>147,425</b>	145,673
【負債の部】		
<b>流動負債</b>	<b>23,854</b>	23,385
<b>固定負債</b>	<b>3,369</b>	4,086
<b>負債合計</b>	<b>27,224</b>	27,471
【純資産の部】		
<b>株主資本</b>	<b>119,608</b>	117,931
資本金	700	700
資本剰余金	4,752	4,752
利益剰余金	114,477	112,797
自己株式	△321	△318
その他の包括利益累計額	592	269
<b>純資産合計</b>	<b>120,200</b>	118,201
<b>負債純資産合計</b>	<b>147,425</b>	145,673

### ●四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	前第2四半期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
<b>売上高</b>	<b>47,954</b>	46,387
売上原価	18,093	16,611
<b>売上総利益</b>	<b>29,860</b>	29,776
販売費及び一般管理費	23,591	24,875
<b>営業利益</b>	<b>6,269</b>	4,900
営業外収益	401	403
営業外費用	61	50
<b>経常利益</b>	<b>6,609</b>	5,253
特別利益	12	3
特別損失	15	16
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>6,606</b>	5,240
法人税、住民税及び事業税	2,157	1,860
法人税等調整額	153	24
<b>四半期純利益</b>	<b>4,295</b>	3,355

### ●四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）（単位：百万円）

	当第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	前第2四半期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>13,511</b>	7,136
<b>投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△1,109</b>	△2,415
<b>財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△3,811</b>	△6,719
<b>現金及び現金同等物に 係る換算差額</b>	<b>2</b>	△28
<b>現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）</b>	<b>8,594</b>	△2,026
<b>現金及び現金同等物の 期首残高</b>	<b>23,210</b>	26,665
<b>現金及び現金同等物の 四半期末残高</b>	<b>31,804</b>	24,638

### 主要子会社である杏林製薬(株)の主な取扱品目

当社グループの杏林製薬(株)は、魅力のある新薬の創製に努めると共に呼吸器内科・耳鼻科・泌尿器科を重点領域として医薬品事業を展開しています。同社の主要取扱品目は下記のとおりです。



気道粘液調整・粘膜正常化剤  
**ムコタイン<sup>®</sup>**



気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤  
**キブレス<sup>®</sup>**



過活動膀胱治療剤  
**ウリトス<sup>®</sup>**



潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤  
**ペンタガ<sup>®</sup>**



脳血管障害・気管支喘息改善剤  
**ケタス<sup>®</sup>**



環境除菌・洗浄剤  
**ルビスタ**

活性型ビタミンD<sub>3</sub>製剤  
ロカルトロール

胃炎・胃潰瘍治療剤  
アプレース

広範囲抗菌剤  
バクシダール

哺乳びん殺菌消毒剤  
ミルトン



# Products under Development

## 主な開発品の動向 (平成24年11月現在)

### Ph I ~承認 (上市)

製品名・開発コード	薬効	起源	特徴	開発段階				
				フェーズI	フェーズII	フェーズIII	申請	承認
KRP-108 (吸入剤)	気管支喘息 治療剤	イギリス スカイファーマ社	ステロイド及び長時間作用性β2刺激薬 (LABA:ホルモテロール)の配合剤で利便性やコンプライアンスに優れる	国内	H24年9月			
				海外	スカイファーマ社 ムンディファーマ社 上市			
ペンタサ (錠剤)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	寛解期潰瘍性大腸炎を対象とした新用法・用量(1日1回投与)	国内	H24年8月			
ペンタサ (坐薬)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	活動期潰瘍性大腸炎を対象とした新剤型(1日1回投与)	国内	H24年8月			
KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	国内	H23年8月			
				海外	メルツ社			
KRP-203	自己免疫疾患、 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト新規メカニズムを有する免疫調整剤 既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	国内	H22年12月			
				海外	ノバルティス H22年12月			
KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさ等の諸症状を改善する長時間作用型気管支拡張薬	国内	H24年9月			
				海外	アルミラール社 上市 フォレスト社			
KRP-AB1102F (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤と長時間作用性β2刺激薬(LABA:ホルモテロール)の配合剤	国内	H24年5月			
				海外	アルミラール社 フォレスト社			
KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社	薬剤耐性グラム陽性菌(MRSA含む)に対して優れた抗菌力 高い安全性が期待される	国内	H23年8月			
KRP-AM1977Y (注射剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社		国内	H24年7月			

#### 開発プロセスの概要

##### フェーズI

##### (第I相試験)

同意を得た少数の健康志願者を対象に、安全性のテストを行う臨床試験

##### フェーズII

##### (第II相試験)

同意を得た少数の患者さんを対象に、有効で安全な投薬量や投薬方法などを確認する臨床試験

##### フェーズIII

##### (第III相試験)

同意を得た多数の患者さんを対象に、既存薬などと比較して新薬の有効性及び安全性をチェックする臨床試験

##### 申請

有効性・安全性が確認された新薬の製造販売を厚生労働省に申請

### ■会社概要 (平成24年9月30日 現在)

商号	キョーリン製薬ホールディングス株式会社 (英文: KYORIN Holdings, Inc.)
事業内容	創薬ビジネス・医薬品事業等を営む子会社を中心とするグループ全体の経営戦略機能を担う持株会社
本社所在地	〒101-8311 東京都千代田区神田駿河台2丁目5番地
設立	昭和33年(1958年)
資本金	7億円
従業員	79名(連結2,346名)

### ■株式の状況

発行可能株式総数	297,000,000株
発行済株式の総数	74,947,628株 (内、自己株式 223,964株)
当中間期末株主数	4,714名

(注)平成24年7月1日付をもって単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。なお、東京証券取引所における売買単位も1,000株から100株に変更されております。

### ■役員 (平成24年12月1日 現在)

取締役及び監査役	やま した まさ ひろ
代表取締役社長	山 下 正 弘
取締役	みや した みつ とも
	宮 下 三 朝
専務取締役	ほ がわ みのる
	穂 川 稔
常務取締役	まつ もと とみ はる
	松 本 臣 春
取締役	おぎ ほら ゆたか
	荻 原 豊
取締役	こ むろ まさ かつ
	小 室 正 勝
常勤監査役	みや した せい ゆう
	宮 下 征 佑
常勤監査役	あ べ しげる
	阿 部 茂
監査役(社外)	お ぼた まさ じ
	小 幡 雅 二
監査役(社外)	ほん だ じゅん じ
	本 田 淳 治
監査役(社外)	ひろ た やす ゆき
	廣 田 保 之
執行役員	
上席執行役員	いし ぎき たか よし
	石 崎 孝 義
上席執行役員	い どう よう
	伊 藤 洋
上席執行役員	かな い さとる
	金 井 覚
上席執行役員	おぎ ほら しげる
	荻 原 茂
執行役員	ます い まさ のり
	舩 井 正 範

## キョーリン製薬グループ各社の概要(連結子会社)

### 杏林製薬株式会社

<http://www.kyorin-pharm.co.jp/>

キョーリン製薬グループにおける中核企業として、創業ビジネスに注力し、画期的新薬を創製することで新薬メーカーとしての使命を果たし、かつ早期にビジネス展開していくことで医薬品事業の競争力強化を図っています。

#### 主な事業内容

創薬研究 | 研究開発 |  
製造 | 販売



### キョーリン リメディオ株式会社

<http://www.kyorin-rmd.co.jp/>

キョーリン製薬グループのジェネリック医薬品事業子会社であり、「信頼される後発医薬品企業」を目指し、品質面での向上を図り、患者さんが安心して服用できる製品を供給しています。

#### 主な事業内容

研究開発 | 製造 | 販売



### キョーリン製薬グループ工場株式会社

<http://www.kyorin-fc.co.jp/>

本年10月より事業を開始し、MSD(株)より取得した医薬品生産に関する資産を基に、医療用医薬品の製造に関する事業を行います。従来にも増して高品質の製品を安定的に提供し、製造技術の向上とコスト効率化を目指します。

#### 主な事業内容

製造 | 販売



### ドクタープログラム株式会社

<http://www.drprogram.co.jp/>

新規美容成分の研究や成分浸透技術の開発で培ってきた製薬発想のナノカプセル技術を製品づくりの基盤とし、創業以来、「安全で真に効果の高い」化粧品を提供し、女性の美と健康に貢献していきます。

#### 主な事業内容

スキンケア商品の開発と販売



### キョーリン メディカルサプライ株式会社

<http://www.kyorin-ms.co.jp/>

従来の事業活動に加え、新たに環境衛生事業に取り組みます。

健康や疾病の問題に対し、人々を取り巻く環境を改善して健康の維持・増進を図ることで、健康生活応援企業として社会に貢献します。

#### 主な事業内容

販売促進 | 広告の企画制作 |  
環境衛生事業



## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 6月に開催  
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日  
          期末配当金 3月31日  
          中間配当金 9月30日

単元株式数 100株  
平成24年7月1日付で変更いたしました。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
(特別口座管理機関) みずほ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
(お問合せ先) 〒168-8507  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

お取扱店 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社  
(平成25年1月4日以降は、「みずほ証券」となります。)  
本店及び全国各支店

公告掲載紙 日本経済新聞

### (ご注意)

1. 口座管理機関(証券会社等)の口座に株式をお預けの株主さまの場合  
住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、お取引の口座管理機関(証券会社等)が窓口となります。  
株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取扱いできませんので  
注意願います。
2. 特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまの場合  
住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部(株主メモ参照)にお問合せ願います。
3. 同封の「配当金計算書」は、確定申告の際の参考資料としてご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主さまにつきましては、お取引の証券会社にご確認ください。
4. 未受領の配当金につきましては、左記お取扱店(株主メモ参照)及びみずほ銀行本店・全国各支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内 <http://www.kyorin-gr.co.jp/>



株主の皆さまにタイムリーな情報をお届けいたしておりますのでぜひご覧ください。

### ホームページサイト

キョーリン製薬グループについて	社長ご挨拶、企業理念・ビジョン、コーポレートガバナンス、会社概要、組織図 等
事業内容	新医薬品、ジェネリック医薬品、ヘルスケア事業 等
株主・投資家情報	IRライブラリ、アニュアルレポート、有価証券報告書、株主総会招集通知 等
その他、グループ経営戦略、CSR活動 等	

## 株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。  
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 4569

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を呈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問合せ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)  
[e-株主リサーチ事務局] MAIL: info@e-kabunushi.com

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

〒101-8311

東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地

TEL:03-3293-3451(代)



PROJECT-  
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO2は  
PROJECT-With the Earth を  
通じてオフセット(相殺)しています。

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

